

UCI World Cup Cyclo-Cross Valkenburg-Provincie Limburg レースレポート

パナソニックレディース 豊岡英子

場所 オランダ ヴァルケンブルグ

日時 2013年10月20日

天候 晴れ時々雨

結果 26位



いよいよ、ワールドカップが始まった。各国から強豪達が、集まってくる。オランダ・リンブルグ地方は、昨年のロード世界選手権の場所でもあり、観光地でもあるため、街中が賑わっている。

コースは、とても厳しく難しいキャンバーの連続に、長い担ぎ区間、目をつぶって下りたくなる激下り、オンロードの登り、芝のアップダウンと、本当にキツイ、タフなコースレイアウトである。前日の試走では、コースの激しさに驚いた。

空気圧とタイヤ選択は、当日の試走で決める。

弱気になる事と、焦らない事、集中力を途切れさせない様にしようと、考えながら眠った。



当日の朝を迎え、ホテルから自走で会場に向かう。ホテルは、春のロードクラシックで有名な、アムステルダムゴールドのゴール手前の、きつい登りの麓にある。ワールドカップの会場は、その頂上にある。

試走を終え、タイヤはライムスを選択。コースを走った感じは、昨日より良い感覚で走れた。天候は、雨が降ったり止んだり、オランダ特有の天候だ。

ウォーミングアップを十分に行いスタートラインにつく。スタート前は、亡くなったエイミー選手への黙祷が行われた。

13:30 スタート、落ち着いて芝に入る、そしてキャンバーのアップダウンの連続に入るが、自分でも思った以上に上手くこなせた。数名のバックで走るが、立体交差のきつい登りで必ず1人だけ遅れる。

「なんでや、なんでやねん」と思いながら、自分の欠点があからさまに出る。遅れた分を踏み直さなければならないので、ものすごく無駄にエネルギーを使う。2周目も、テクニカルセクションで前に出て、ブリッジで遅れるというのを繰り返す。とにかく必死で追いつく。

3周目、ついに遅れだす。60m位同バックで走っていた所から遅れる。すると、後ろから2名に追いつかれ、そこで一緒に走るが、ブリッジで遅れる。追いつくが、何か嫌な予感がして後部車輪を見ると、インナーローに木の枝が巻き付いていた。

ピットまでは、距離があるけどアウターローに入りたいセクションがある。
しかし、トラブルを避けるため、2枚重いギアで登る。足がパンパンだったが、トラブルで自転車が動かなく事を思うと、踏みつける方がましだ。

4周目に入り、ピットで自転車の交換。ここで頑張らねばと、気持ちを入れ替え、しかし焦らず的確にと思いながら前を追う。

6週目、最終周回に入り、前のパックもバラバラになりだしていた。
キャンパーセクションで2人パスし、下り、登り返しで1人チェーントラブルで止まっていた。

私の後ろに付いていた選手が、その止まっている選手に突っ込み停止。
やはり、最終周回は、皆疲れているので、集中力も欠けトラブルも増える。そこからは、1人で焦らず、と言いつけゴールまで走り26位でフィニッシュ。ゴール後は、どの選手も座り込んでいた。本当にタフなコースで、40名中、完走は28名という過酷なレースであった。

応援ありがとうございました。

使用機材

自転車	パナソニック
ヘルメット	OGK KABUTO
ステム	dixna
ハンドル	onebyesu
フォーク	onebyesu
バーテープ	dixna
サングラス	adidas eye wear
ウェア	パールイズミ
タイヤ	challenge
サドル	fi' zi:k
シューズ	fi' zi:k
遠征バック	deuter
バイク・ウェアメンテナンス	Holmenkol

豊岡英子選手 13/14 シーズン予定

10/13 BPOST BANK TROFEE RONSE-KLUISSBERGEN (Belgium) 15 位

10/20 UCI WORLD CUP VALKENBURG (Nedreland) 26 位

10/22 Nacht Van Woerden (Nederland) 20 位

10/26 UCI World Cup TABOR (CZE)

10/27 SUPER PRESTIGE RUDDER VOORDE(Belgium)

11/10 関西シクロクロス滋賀

11/16.17 UCI 野辺山シクロクロス

11/24 UCI 琵琶湖マイアミランド

12/1 関西シクロクロス由良川

12/8 全日本シクロクロス選手権滋賀